

2019年度JETプログラム参加者歓送レセプション

2日、平山大使は、新たなJETプログラム参加者のために、大使公邸にて歓送レセプションを開催しました。今年は、トリニダード・トバゴから14人、セントビンセント及びグレナディーン諸島から1人の計15人が参加者します。

大使は、選抜された新規JET参加者たちにお祝いの言葉を述べるとともに、日本各地で日本文化を学び、日本とカリブ諸国との架け橋になっていただきたいと激励しました。また、大使は、長年にわたって日・トリニダード・トバゴの友好関係促進へ際だった貢献を行ってきた西インド諸島大学セントオーガスティン校語学学習センターに対し、外務大臣表彰が授与されることを発表しました。

イニス・トリニダード・トバゴJETプログラム同窓会（JET・AA・TT）会長は、JETプログラム参加者に祝意を伝え、日本での活躍を祈りました。また、イニス代表は、トリニダード・トバゴがJETプログラムに参加してから今年で15周年を迎えることにも触れました。

JETプログラム参加者は各自自己紹介し、日本政府に対する感謝の気持ちを表すとともに、これからJETプログラムでの経験への抱負を語りました。その後、参加者たちは、出席者との間で、日本での目標・日本関連情報等について懇談しました。



2019年度JETプログラム参加者との記念撮影、平山大使（2列目、右から5番目）、平山大使夫人（2列目、左から5人目）、ビバリー-アン・カーター教授（最前列右端）、ローレンス・イニス（2列目、一番右）



2019年度JET参加者らから記念品を受け取った平山大使夫妻（真ん中）



平山大使の挨拶



JET参加者のひとり、
サマンサ・サマラルさんの挨拶



ビバリー-アン・カーター教授と懇談する
平山大使



過去の国費外国人留学生（MEXT）
プログラム参加者